

委員会報告

9月10日の本会議において各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会

質問 国民健康保険税の法定外繰入というのはその年のマイナス分であってこれまでの累積の2億4千3百万円はずっと残るか。

答弁 残りの赤字は残っていく。社会保障と税の一体改革による財政等の支援の動向を見て考えていきたい。
質問 小城公民館の改修事業で改修することはいくつか。公民館は今のまま維持していくのか。

答弁 交流プラザに入る予定の水道課と総合窓口は交流プラザが完成するまでの間公民館を改修して一時的にそこで業務を行う。



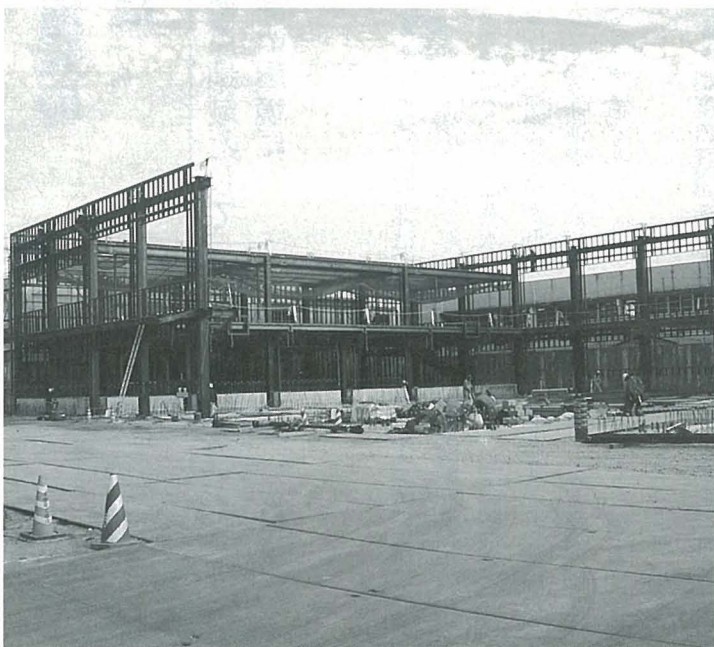
文教厚生常任委員会

質問 平成24年度小城市一般会計補正予算(第3号)の社会福祉協議会補助金について、利益が出たというが、その事業と額は。

答弁 昨年度の決算で5,776千円の剰余金が出た。主な事業は生きがいデイサービス事業だった。

質問 工事請負契約の締結について(平成24年度芦刈小学校改築 建築1期工事)について、議案質疑のなかで適切な入札参加の業者数を7社くらいと答弁した真意は。

答弁 今回の入札参加条件に照らしJ・V(共同企業体)を組むと最大7社が可能。なるべく多くの参加により、競争原理を働かせて適正な入札を期待した。



産業建設常任委員会

質問 清水地区駐車場整備事業には、鯉料理店の利用もあることから受益者負担は考えていないか。

答弁 清水地区に観光に來られた利用者は、観光施設ととらえ受益者負担は考えていない。

質問 スマートインターチェンジ整備事業の地元からの要望は、どのようなものか。

答弁 市道原田線の付け替えとアンダーボックス(道路下の通路)及び架橋の設置。高速にかかる歩道橋が要望されている。

質問 牛津駅周辺には、駅と市営住宅建設や牛津駅南開発の総合的な連携が必要では。

答弁 牛津駅南地区は、牛津地区の中心で、活性化を図る上で、住みやすい環境、商業の活性化拠点として暮らしやすい町づくりを目指していく。

